

はしづめ法一の紹介

- 1950年、旧東頸城郡旭村に生まれ、旧中頸城郡源村、吉川町にて育つ。65歳。新潟大学人文学部史学科卒。土地家屋調査士補助者、建設労働者などを経て1975年から家業の酪農に従事。2004年1月に酪農をやめ、和牛の繁殖を数年やった後、議員活動に専念。
- 1977年4月より2004年12月まで、旧吉川町農業委員9期。1978年11月より旧吉川町議会議員7期。2005年2月に上越市議会議員に初挑戦、連続3回当選。2015年3月に辞職。この間、文教経済常任委員、総務常任委員、厚生常任委員、中山間地対策特別委員長などを歴任。
- 現在、日本共産党上越地区委員会自治体部長、ガス水道局談合裁判原告団長
- 主な著書／「幸せめった」(恒文社)、「春よ来い」(同時代社)、「あねさかぶり」(同時代社)、「背中かき」(北越出版)、「山村集落の再生の可能性」(共著、自治体研究社)、「集落再生と日本の未来」(共著、自治体研究社)
- 趣味／野の花の写真撮影、里山歩き。
- 家族／91歳の母、妻、一女、二男。今年、初孫誕生(写真右)
- 吉川区代石在住。



郷人会での挨拶(昨年11月2日、都内で)



花はキク科のキッコウハグマ

はしづめ法一

のりかず

日本共産党

暮らし
応援！

福祉削るな！
ムダ遣い削れ！

上越民報

2015年号外 [発行] 日本共産党上越市委員会／上越市五智1-21-12
日本共産党の見解を紹介します。[連絡先] 電話543-1890 Fax543-1875

平和が一番、戦争法廃止！

3期
10年間

みなさんと力を合わせ

がんばってきました

前上越市議会議員

日本共産党

はしづめ法一



●談合問題をすどく追及 入札制度の改善につなげる

公共工事発注の際の談合は、一部業者が不当な高値で受注し、貴重な税金のムダ遣いになっています。ガス水道局の工事で明らかになった談合疑惑問題では、裁判への提訴を含めて、徹底的に追及しています。また、この追及は公正で透明な入札制度に向けた改善につながりました。談合疑惑裁判の原告団長として、全容解明をめざしています。

これまでの活動から



●中山間地対策に全力あげる

市議会中山間地対策特別委員会の委員長として、中山間地の暮らし応援に全力。自治体として全国で初の実態調査を実施させるとともに、議員提案での中山間地域振興基本条例づくりに党派を超えた力を結集しました。



●(仮称)厚生産業会館は市民の 声を聴けと一貫して主張

地元の高田区地域協議会の声を無視し、建設ありきで暴走した市政運営を批判、「建設するかどうかも含め市民の声をしっかり聴け」と一貫して主張してきました。日本共産党議員団独自にアンケート調査を実施し、「いったん白紙に」が67%にもなったことから、市民投票の実施を提案してきました。

●被災地支援は最優先

大地震、豪雪、豪雨などの災害対策では、いち早く現地に駆け付けるとともに、被災者を激励し、関係機関に対策を求めてきました。また、東日本大震災の被災地支援にも出かけてきました。(写真は、長野県北部地震発生時の大島区菟蒲での被災状況調査)



●柏崎刈羽原発再稼働反対の論陣

福島原発事故は未だに収束していません。柏崎刈羽原発は「豆腐の上の原発」とも呼ばれ、極めて危険な原発です。「再稼働は絶対認められない」として、議会内外で頑張ってきました。また、自然エネルギーの重視を訴えてきました。



市民こそ主人公の市政へ、はしづめ法一のお約束

柏崎刈羽原発の
再稼働に反対

市民負担軽減のため
頑張ります

中心部、周辺部ともに
栄える政治を

戦争法(安保法制)
廃止の連合政府を

レポートを発行し、
市政、議会の様子伝えます



日本共産党

